

ボランティア活動報告書

グループ （ フレキシブル ）

活 動 日 時	2025年6月25日（水） 13：00～15：00
活 動 場 所	白鶴酒造株式会社 本社/白鶴酒造資料館
出 席 メ ン バ	4 名
参 加 人 数	ご対応いただいた会社の方 2 名
活 動 内 容	灘五郷を代表する日本酒メーカーである白鶴酒造株式会社を訪問し、その歴史、理念、地域への想いを伺う事で、阪神地域の日本酒文化への理解を深める取材を行った。そして、インタビューを通じ、その価値と魅力を認識することが出来た。 訪問に当たっては、以下の4つの主要な問掛けを白鶴酒造に事前をお願いし、当日のインタビュー取材に臨んだ。 ①製品づくりにおける白鶴酒造のこだわり ②日本酒文化の普及への取組 ③創業の地である灘五郷、神戸と共に歩む地域貢献 ④未来を見据えた白鶴酒造の展開、ビジョン。 また、我々の学びを深めるため、本社に隣接されている白鶴酒造資料館を見学させて頂いた。酒造りの歴史や、工程、道具類、逸話などを丁寧に説明頂いたので、改めて日本酒文化の理解が深まった。
感 想	今回は、事前問いかけに対する具体的な回答を頂き、実り多かった。特に以下の点が印象的だった。 ①製品づくりへのこだわり： ・社内きき酒鑑定人による週2回の原酒評価や、長い歴史で蓄積された膨大なデータを使った、IT活用の酒品質管理が行われている。伝統と最新技術を融合させた、味・品質への強いこだわりを感じた。 ②日本酒文化の普及と未来への挑戦： ・若年層ファン向けの日本酒イベント開催やYouTubeチャンネルを通じたSNS発信など、多様なアプローチが実践されている。特に若手の女性YouTuberを起用した全漁連とのコラボ企画「白鶴まる」シリーズが高い閲覧数で、新しい宣伝発信の可能性を示唆していた。 ・海外市場開拓に注力されている。ただ、ワインと異なり「〇〇年産」といったプレミアムをつけにくい日本酒の宿命が有るとの事だった。（可能性は大きいが海外事業で儲かるか・・・）。 ③地域貢献： ・1995年の阪神・淡路大震災時には、被害甚大で白鶴酒造廃業も考えた。だがその一方で、風呂開放や水の提供、タンクローリーの病院貸出しなど、地域への多大な貢献がなされた。 ・現在も年2回の酒蔵開放を行うなど、地元コミュニティを大切にする姿勢が貫かれている（「灘五郷に有るから白鶴酒造」との誇り）。 ④白鶴酒造資料館見学： ・酒造り歌が聞こえる中で酒造り工程を丁寧に説明頂いた。蔵人の作業風景を再現した人形のリアルさに驚き、道具類を間近に見学して、職人技の片鱗に触れることができた。 ・試飲コーナーでは、蔵酒や、ゆず酒などを試飲させて頂いた。（しかし、素人には、なかなか試飲での評価は難しい・・・（笑）） ⑤その他： ・参加したメンバー全員が「白鶴酒造インタビューは本当に良かった！」と、今回の活動に満足している。